

防災功勞で内閣総理大臣表彰

豊橋・岩田校区の連絡協

校区運動会で「訓練」

担架搬送と バケツリレー 住民の意識高める

校区の運動会に防災訓練を取り入れ、住民の防災意識の普及に努めたとして豊橋市岩田校区防災会連絡協議会（青木哲夫会長）が防災功勞者内閣総理大臣表彰を受賞した。全国で6人、38団体が選出され、県内では他に3団体が選ばれた。

（飯塚雪）



簡易担架を搬送する岩田校区住民—豊橋市岩田小学校で

9月中旬、同市岩田小学校で開かれた校区運動会で担架搬送とバケツリレーを取り入れた防災リレーが行われ、老若男女約200人が参加した。

担架搬送リレーは、物干し竿（さお）と毛布で簡易担架を作り、7人一組で運びリレーしながらトラックを周回。中継地点で一旦解体し、消防団員の指導のもと組み直し、簡易担架の作り方を学ぶ。

もともと防災訓練

がなかった同校区で2010（平成22）年に開始。当時自治会長だった大野純亮さん（68）＝同市岩田町＝は阪神淡路大震災後、日々の防災の必要性を感じてい

た。防災を考えるきっかけ作りとして、住民が最も多く集まる運動会で楽しみながら体感できる訓練を企画。20、30代の若い世代の参加率を上げる狙いもあった。この日、中学生だけのチームもあり、

青木会長（66）＝同市平川本町＝は「いざという時に思い出せるよう防災意識を高めるために継続していきたい」と話した。

現在は年1回の校区防災訓練も実施される。岩田校区は市内で外国人居住者が最も多いため、ポルトガル語で名簿を作るなど多文化共生を進めている点も評価された。

聞かえた。